

2017年  
6月15日  
木曜日

発行所  
北海道新聞社  
〒060-8711 札幌市  
中央区大通西3丁目6  
電話011-221-2111  
dd.hokkaido-np.co.jp  
読者センター  
011-210-5888  
(日曜・祝日除く9時～18時)  
ご購読申し込み  
0120-464-104  
3ヶ月コース

## 児童書寄贈 7年ぶり再開

「堀内文庫」の堀内さん  
体調回復、図書館に64冊  
伊 達



寄贈した本を前にそれぞれの思いを語る堀内宣男さん（左）と伊東克己さん

【伊達】市立図書館に「堀内文庫」の名前で寄贈した一冊の堀内宣男さん(80)が見

児童書64冊(10万円相当)を同図書館に贈り、14日、市から感謝状を受けた。体調を崩していたことなどから寄贈は7年ぶりだ。「このまま続けたい」と話している。

堀内さんは、幼少期に本を読みたくても読めなかった経験があり、2002年に本の購入費として市に100万円を寄付。その後は毎年、児童書を中心に新刊本の寄贈を続けた。本の数が計1300冊を超えた10年に妻のテイさんが亡くなり、自身も体調を崩して入院。翌年から寄贈を見合わせていたが、体調が回復し、再開を決めた。

一方、11年からは、堀内さんの市役所の後輩で元図書館長の伊東克己さん(66)が活動を引き継ぐ形で児童書の寄贈を続けている。今

年は堀内さんと同時に、58冊(10万円相当)を贈り、伊東さんも市から感謝状を受けた。

14日、図書館で行われた感謝状の贈呈式で堀内さんは「以前、小学生から感想文を送ってもらい、うれしかった。本を贈るのは自分にとって心の支えでもある」と思いを語った。館長

在任中に毎年、堀内さんから本を受け取ってきた伊東さんは「堀内さんが寄贈を再開するのはうれしい」と笑顔で話した。

今回、贈られた児童書は市内各小学校の図書室に約3週間ずつ置かれ、その後、図書館の書架に収められる。

(石井昇)